

⑪-I ざ瘡様皮疹 (I)



顔面、頭皮、胸部上部、背部などに出現するにきびのような皮疹
(赤いブツブツの丘疹や、膿をもった赤みを帯びたブツブツの膿疱) を
ざ瘡様皮疹といいます

原因

分子標的薬のEGFR阻害薬の
投与によって起こります

点滴投与	アービタックス(セツキシマブ®)、パニツムマブ(ベクティビックス®) など
経口	アファチニブ(ジオトリフ®)、エルロチニブ(タルセバ®) など

出現の目安

抗がん薬を開始して1週間頃より出現し、2～3週間後にピークを迎えます
症状は日々のスキンケアや処方薬を使用することで軽減することが多いですが
数ヶ月症状が続く場合もあります



毎日皮膚の状態を観察し、特に足裏など普段見えにくい部位も意識しましょう

基本のスキンケア「洗浄・保湿・保護」を行い、症状があれば主治医や看護師に相談してください

洗浄

- 【洗剤】 低刺激のボディーソープ。よく泡立て、手で優しく洗う
- 【化粧落とし】 刺激の少ないクリームやジェルタイプ
- 【ボディタオル】 綿や絹など肌に優しい素材を(ナイロン製は避ける)
- 【洗い方】
 - ・鼻と額は皮脂が多いため、優しく念入りに洗う
 - ・洗髪はぬるま湯で予洗い後、シャンプーを泡立てて指の腹で優しく洗う
- 【入浴】 38～40℃のぬるま湯に保湿用入浴剤を入れ、時間は10分ほどを目安に
- 【シャワー】 弱めの水圧とぬるま湯で優しく流す
- 【入浴後】
 - ・ガーゼタオルで押さえるように拭く
 - ・ドライヤーは熱風が頭皮に直接当たらないようにする



頭皮にざ瘡様皮膚炎がある場合

汗や皮脂、汚れが固まって かさぶた状になることがあります

- かさぶたが毛髪と絡まることがあるので
取り除く前に頭皮を温かいタオルやシャワーで湿らせる
- オリーブオイルを頭皮に塗り、10～20分置いてかさぶたをふやかす
- ふやかしたかさぶたは無理に剥がさず、泡立てた石鹸やシャンプーで優しく洗い流す
- 頭皮をよく乾かしてから、ステロイドの外用薬を塗布する
(量は【保湿】の「軟膏・クリームの場合」「ローションの場合」を目安に)



ご連絡

いただきたい
状況

熱感や疼痛など感染症の疑いがあり、痛みで歩行や物を持つのが困難な時 など

TEL. 078-261-6711

平日 (8:30～17:00) ⇒ 各診療科が対応

時間外 (17:00～翌8:30) 及び土・日・祝日 ⇒ 救急外来が対応

社会医療法人神鋼記念会
神鋼記念病院

⑪-I ざ瘡様皮疹 (2)



基本のスキンケア「洗浄・保湿・保護」を行い、症状があれば医師や看護師に相談してください

髭剃り



- 髭剃りには刺激の少ない電気シェーバーを使用する
- 電気シェーバーを持たない方の手で皮膚を軽く引っ張り、毛幹を立てて皮膚に直角に押し当てる（滑らせないように注意）
- 使用前に蒸しタオルで皮膚を柔らかくする
- 無香料・無着色の刺激の少ないシェービングフォームやジェル、または洗浄剤の泡を使用する
- 切れ味の良いシェーバーを選ぶ
- 皮膚の負担を減らすため、週末は髭を剃らないなど休ませる日を設ける



保湿

- 洗顔や入浴後、水分を拭き取ったらすぐに保湿剤を塗る
- 市販の保湿剤は香料や添加物が少なく、アルコール成分のないものを選ぶ
- 保湿剤は朝・夕・入浴後・就寝前・手洗い後など、こまめに塗る
- 手洗いや入浴後、水分を押さえるように拭き取ったら皮膚がしっとりしているうちに（目安は10分以内）に塗る



保湿剤の塗り方のコツ

- ① 保湿剤は手のひらで温めてから塗る
- ② 部分ごとに保湿剤を分けて塗布
- ③ 擦り込まずに包み込むように塗る
- ④ 就寝前は量を増やし、手袋や靴下を着用
- ⑤ 洗顔後は化粧水、乳液、クリームを重ねづけ

■軟膏・クリームの場合

人差し指 第1関節まで出す



■ローションの場合



1円玉の大きさに出す

その量を手のひら2枚分の範囲に塗り広げる

保護（皮膚への刺激を避ける）

- 皮膚への刺激を避けるため、化学繊維ではなく刺激の少ない綿素材の衣服を選ぶ
- 締め付けすぎない、ゆったりした衣類を着用する
- ファンデーションを塗る前に必ず保湿し、スポンジは細菌が繁殖しやすいため、こまめに洗う
- 紫外線から肌を守るため、外出時や洗濯、庭仕事の際には日焼け止めクリームや帽子、日傘、長袖の上着、手袋を使用する



TEL. 078-261-6711

平日（8：30～17：00）⇒ 各診療科が対応

時間外（17：00～翌8：30）及び土・日・祝日⇒ 救急外来が対応

社会医療法人神鋼記念会
神鋼記念病院